

編集方針



統合報告書2025の発行について

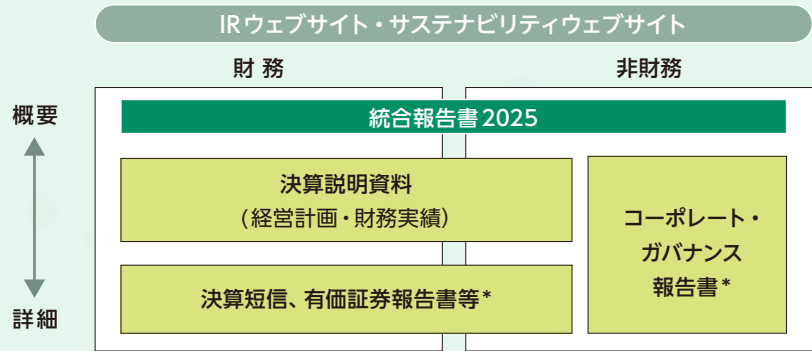
統合報告書2025では「JTグループの進化（これまでとこれから）」をテーマとしています。ステークホルダーの皆様当社グループのさらなる成長に向けた考えをわかりやすく伝えることを目指し、経営トップからのメッセージを集約したMANAGEMENT MESSAGEのセクションを新たに設けました。また、当社は2025年に会社化40周年を迎えることから、これまでの成長の軌跡と今後の挑戦についてお伝えすべく、特集として会長・社長へのインタビュー記事を掲載しています。

当社の統合報告書はJT Group Purpose「心の豊かさを、もっと。」の実現に向けた当社の最新の考え、想いを実績とともに紹介する報告書であることから、今回よりタイトル年度を発行年度に変更しています。本報告書が、ステークホルダーの皆様からの当社グループの今後の成長性への期待につながるツールとなれば幸いです。



統合報告書の位置付け

当社の統合報告書は、経営方針や経営戦略、業績推移といった財務情報に、中長期に亘る当社グループの成長を支える非財務としてのサステナビリティ情報を統合した報告書です。株主・投資家をはじめとした幅広いステークホルダーの皆様に、当社グループの現在、また将来における価値創造ストーリーをお伝えすることを目的に発行しています。また、より読みやすさを重視したオンライン版をJTウェブサイトに掲載していますので、併せてご覧ください。



* 会社法・金融商品取引法等で制度的に開示が定められている書類



表紙について

今年の表紙デザインは、統合報告書2025の制作テーマである「JTグループの進化（これまでとこれから）」の「進化」とJT Group Purposeの「心の豊かさを、もっと。」を意識し、かつ直近2年の統合報告書の表紙を踏襲したデザインとしました。

また、より幅広いステークホルダーの方々に読んでいただきたいという想いから、親しみやすさを表現したことも特徴です。

編集方針

報告期間： 2024年度（2024年1月1日～ 2024年12月31日）
(注) 当該年度以外の内容も一部掲載しています。

報告対象範囲： 日本たばこ産業株式会社および連結子会社

発行時期： 2025年7月

参照ガイドライン： IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」を参考にしています。また、ESG情報については、GRI(Global Reporting Initiative)の「サステナビリティ・レポートング・スタンダード」を参考にしています。

将来に関する記述等についてのご注意

本報告書には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでいます。係る将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、係る将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。そのうち、現時点で想定される主なものとして、右記のような事項を挙げることができます(なお、係るリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化および需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動および原材料費の変動
- (10) 自然災害および不測の事態等